

高校生の情報リテラシー向上について

宮城県仙台第三高等学校 普通科

要旨

現代社会において情報格差が深刻化しており、その要因の一つに高校生の情報リテラシー不足がある。総務省の調査では、「不適正取引リスク」などの理解が不十分で、「読み取る力」の欠如が顕著だった。そこで私たちは、京都産業大学の塩谷教授の協力を得て、情報リテラシーを「読み取る力」「伝える力」「調べる力」に分類し、パンフレットを作成して改善を試みた。

1 テーマ設定の背景

情報社会になった今、情報格差というものがより大きな社会問題となっている。その原因の一つとして個人個人の情報リテラシーに差があることが挙げられる。これから大学生、社会人となって社会を担っていく高校生にとってこの情報リテラシーというものがより重要な能力になっていくと考えた。

2 基本知識

情報格差(デジタルデバイド)とは、パソコンやスマートフォン、インターネットなどの情報技術に触れたり使いこなせる人とそうでない人の間に生じる、貧富や機会、社会的地位などの格差。個人や集団の間に生じる格差と、地域間や国家間で生じる格差のこと。また、情報リテラシーとは、コンピューターを使えるという意味だけでなく情報にアクセスし、その知識を精査したり活用したりする能力のこと。

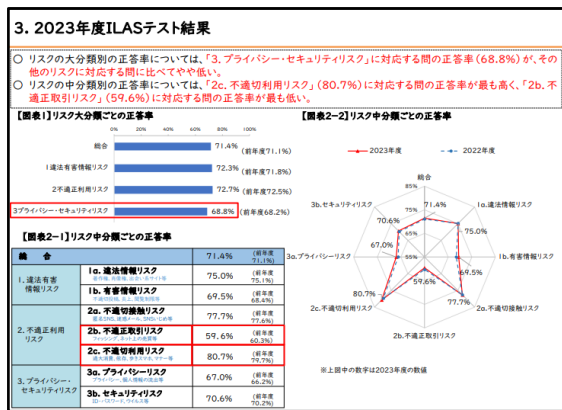
3 調査方法

インターネットを利用し、現在の高校生の情報リテラシーの現状を知る。また、何が特に足りないか分析する。さらに、京都産業大学現代社会学部現代社会学科の塩谷 芳也教授にご協力いただき、高校生の情報リテラシー向上のため

の方法を議論する。

4 調査結果

今回は、総務省が全国の高校1年生を対象に行なっている青少年のインターネット・リテラシーを測るために実施されている ILAS の結果(下の2つグラフ)をもとに現在の高校生の情報リテラシーの現状について調べた。まず、現状の問題点として挙げられるのが全体の正答率が 71.4%であるのに対し、不適正取引リスク、プライバシーリスク、有害情報リスクの3つの観点で70%を下回ってしまっていることである。ここで言うこの不適正取引リスクというのはフィッシングやネット上での売買、架空請求詐欺やネット上での個人情報管理のこと、また、プライバシーリスクは主に個人情報の管理であったり位置情報サービスの利用のこと、有害情報リスクとは青少年や一般利用者が、児童ポルノ、違法薬物、自殺誘引情報など、不適切な情報に触れることで、心身に悪影響を受けたり、犯罪に巻き込まれるリスクのことを指します。不適正取引リスクに関してはグラフで見ても分かる通り他の分野と比べ、59.6%と大きく落ち込んでしまっている。



リテラシーを「読み取る力」「伝える力」「調べる力」の3つの要素に分けてパンフレットにまとめました。特に現在の高校生に不足している「読み取る力」を高めるには本を読むことであったり、よく言われている複数のデジタルコンテンツに触れること、また、情報の信頼性を常にチェックしたり、意識しておくことで自然と「読み取る力」高まっていくことが分かった。次の画像はパンフレットの一部である「読み取る力」について詳しく書かれている部分である。

3. 2023年度ILASテスト結果(リスク分類別の経年比較)

○ 2023年度においては、前年度までの正答率とほぼ横ばいであるが、プライバシー・セキュリティリスクに対応する設問などの一部の設問では正答率が前年度に比べてわずかに上昇。

○ 2022年度に一部設問の改修を行っているため、2021年度までの結果は参考値として取り扱う。

リスク分類	具体例	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
総合	-	69.7%	67.2%	68.8%	69.6%	68.7%	71.1%
1. 違法有害情報リスク	-	72.4%	71.8%	73.8%	73.6%	73.4%	75.1%
1a. 違法情報リスク	著作権、肖像権、盗用、偽造、偽造、偽造	72.4%	71.8%	73.8%	73.6%	73.4%	75.1%
1b. 有害情報リスク	不適切投稿、誹謗、誹謗、誹謗	68.2%	65.9%	66.8%	67.4%	66.0%	69.5%
2. 不適正利用リスク	-	77.7%	77.5%	77.0%	77.1%	76.6%	77.7%
2a. 不適切接触リスク	匿名SNS、連絡メール、SNS、LINE等	77.7%	77.5%	77.0%	77.1%	76.6%	77.7%
2b. 不適正取引リスク	フィッシング、ネット上の売買等	57.1%	54.6%	56.4%	57.5%	61.9%	59.6%
2c. 不適切利用リスク	過剰消費、依存、歩きスマホ、マナー等	82.4%	77.5%	79.4%	80.2%	78.9%	80.7%
3. プライバシー・セキュリティリスク	-	63.9%	60.8%	62.3%	63.9%	62.0%	67.0%
3a. プライバシーリスク	プライバシー、個人情報、個人情報の流出等	63.9%	60.8%	62.3%	63.9%	62.0%	67.0%
3b. セキュリティリスク	ID・パスワード、ウイルス等	65.3%	64.3%	65.6%	67.4%	66.8%	70.2%

読み取る力の向上のために

本を読む
インターネットと言っても文字を読む力であるので読解力、国語力を高めることが重要です。

複数のデジタルコンテンツに触れる
一つの情報から物事の真偽を判断するのは難しいため、様々なメディアによる多角的な視点で物事を捉えることが大切です。またAIによるファクトチェックを活用するのも効果的です。

情報の信頼性を常にチェックする
誰がいつ書いた、どの立場からの意見なのか、意図は何なのかなど情報の「裏読み」を習慣にすべきです。情報を発信している人の経歴などを確認しておきましょう。

https://www.canva.com/design/DAGlPhXB-jE/flgoEc_47E9HHTlZlbn7UQ/edit

考察

今の高校生には情報を読み取り、正しく判断する能力が大きくかけられていると考えられる。そのため私達は、今の高校生に向けた情報リテラシー向上のためのパンフレットを独自で作成し、読んでもらうことで情報リテラシー向上の手助けになるのではないかと考えた。

結果

私達は京都産業大学現代社会学部現代社会学科の塩谷 芳也教授にご協力いただき、情報

abstract

We think high school students in Japan should be more interested in information literacy to improve their information literacy , and we separated information literacy into three skills to make improving it easier. In addition , we think it is important to improve three skills .

参考文献

総務省 2023 年度 青少年のインターネット・リテラシー指標等に係る調査結果の公表
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd256260.html>